

# 美和ダム再開発湖内堆砂対策施設モニタリング委員会（第5回）

## 議事要旨

日 時：平成30年3月14日（水） 10:00～12:00

場 所：ダイヤビル2号館2階222会議室

### 【議事】

#### 1. 議事

- 1) 第4回委員会での指摘事項
- 2) 運用計画・試験運用計画と環境影響予測
- 3) モニタリング計画

#### 2. 今後の予定

### 【議事要旨】

#### 1. 第4回委員会での指摘事項について

- 事務局説明 ■ 第3回の指摘事項について説明  
主な意見等 ● 委員全員が了承

#### 2. 運用計画・試験運用計画と環境影響予測

事務局説明 ■ 湖内堆砂対策施設の運用計画と施設完成後に実施する試験運用計画、および環境影響予測について説明

- 主な意見等 ● 運用方法については、全開操作を積極的に行う場合、操作の自動化は考慮できるが、影響の発生を最小限に抑えることに重点を置く場合は手動で考えざるを得ない。自動化の計画をしても早急に実施することは難しいので、今後検討すべきである。
- 試験運用期間の早期に全開操作・制御操作①の基本パターンを実施し、課題を洗い出すこと。
  - スtockヤード内の土砂流出過程の調査は、土圧計やCCTVによる目視で問題ないと思われるが、カメラとレーザースキャナの組み合わせによるStockヤード内の水面形把握も可能と思われるので、検討に加えること。
  - 濁度計は異常値が出やすく、濁りの強い流水でどこまで正確に計測できるかわからない。濁度計設置にあたり観測値の信頼性を確保するよう今後検討すること。これについては委員等に相談すること。

### 3. モニタリング計画

事務局説明 ■ H30 年度以降の施設モニタリング調査及び環境モニタリング調査の計画について、第 4 回委員会時からの修正点を含めて説明

- 主な意見等 ● 環境及び施設モニタリング調査計画について了承された。
- 危機管理の観点から見た運用計画についても整理すること。異常気象による出水が発生した場合に何を守るべきか・維持すべきか、バックアップは何かを今の段階から検討しておく必要がある。
  - 環境（生物）への影響を考えるにあたり、濁度の連続データは重要なので、確実な観測を期待したい。
  - 天竜川への影響は、試験放流で流量、濁度がどのようにピーク低減するかを検証していくことがポイントである。

### 4. 今後の予定について

事務局説明 ■ 事務局より H30 年以降の位置づけ及び開催の頻度について案を説明

主な意見等 ● 位置づけ及び頻度について了承された。

以上